

“イロハのイ” から学び直す

原発 なんでアカンのの？

福島原発事故から 14 年。溶け落ちた核燃料（デブリ）の取り出しもままならず、廃炉まで何年かかるかも見通せません。避難区域が半ば無理やり解除され、政府も自治体も懸命に（強引に？）帰還を促していますが、故郷へ戻る人は少数にとどまり、未だ復興には程遠いのが現状。健康被害も隠蔽され、あたかもなかったかのように扱われています。原発事故が故郷を、人びとの生活を丸ごと破壊し、取り返しのつかない傷跡を残すことを、まざまざと見せつけられています。



福島第一原発事故では1・2・4号機が水素爆発を起こし、広島原爆 170 発分もの放射性物質が東日本一円にまき散らされました

にもかかわらず、政府は原発依存を続け、運転開始から 40 年超の老朽原発を再稼働させ、新增設も進める方針です。使用済み核燃料（放射性廃棄物）の処理方法も処分地も、何も決まっていないのに、です。

今、改めて、一から、“イロハのイ”から、原発とは何か？ なぜあってはならないのか？…を学び直し、原発のない未来を子どもたちに残すために、私たちに何ができるのか・何をすべきなのかを考えたい…。そんな思いから企画した学習会です。

「原発なんてない方がいいとは思うけど、あまりよく知らない・分からない」。そんなアナタ、ぜひご参加ください！

2025 年 **5 月 10 日（土）午後 2 時から**（4 時頃まで）
千里公民館 3 F 視聴覚室（北急／モノレール「千里中央」）

講師：末田一秀さん（「はんげんぱつ新聞」編集長）

参加費：300円

主催：木村真とともに豊中を変える会

TEL 06-6846-8358 メール kaeru.toyonaka@gmail.com